（別紙2）

「企画提案書」作成要領

1　様式等

（1）企画提案書の様式は様式3とする。（任意様式は不可とする。）

（2）用紙の規格は A4判縦長とする。（A3判用紙の折り込みは不可とする。）

（3）様式に書ききれない場合は、適宜枚数を増やすことができるものとする。

（4）文章を補完するために、写真、イラスト等を使用することができるものとする。

（5）1仕向地につき1企画書とする。

2　記載事項

（1）商社等との協力体制の構築方法

・輸出貨物を確保するうえで構築する、商社や海外フォワーダー等の外部企業との協力体制及びその連携内容について記入すること。

（2）輸出貨物確保・増加に向けた宣伝活動の内容

・小口混載輸送を行うことについて、荷主に向けた継続的な広報及び宣伝活動内容について、具体的に記入すること。

・広報活動及び宣伝活動に必要な金額の見積価格と積算内訳を記入すること。

（3）仕向先国の選定理由及び想定される輸出貨物

・貨物の輸送先の選定理由について明確に記入すること。

・想定される輸出貨物の品目について明確に記入すること。

（4）支援を活用した混載輸送事業の内容

・リーファーコンテナを活用した小口混載貨物の輸送方法について、実施説明書の別紙 1 を例として具体的に記入し、補助対象とする費用を明確にすること。

・荷主への請求の仕組み及びその金額を具体的に記入すること。

なお、荷主への請求の積算に係る輸送費用等は最大値を用いて設定すること。

（輸送費用等の価格変動により集金方法及びその金額を再設定する際は、変更 に係る企画提案書を苫小牧港管理組合へ提出し、集金方法の変更について協議すること。）

・想定されるペイラインを記入すること。

・補助対象となる不足分の金額を事務局に示す仕組みについて具体的に記入すること。

（例：船荷証券等の契約書類の写しを提出する等）

・現地調査を行う場合はその方法について、具体的に記入すること。（1航路1回）

（5）過去に同支援を受けた際の課題整理及び改善方法

・過去に同支援を受けたことがある事業者は、過去の実績（輸送回数、貨物量、混載状況等）をもとに、課題を的確に整理し、課題に対する改善方法を明確に記入すること。

（6）輸出スケジュール

・年間の輸出スケジュールについて一連の流れを記入すること。なお、支援を活用した輸送の開始予定月を記入すること。

3　資料の添付

必要に応じて前項までの内容を補足するための資料を添付することが出来るものとする。なお、添付資料は A4 判で、写真・イラスト等の使用も可とする。